

調査研究部報告

第46回 みんなの消費生活展

試食牛肉の食味と普段  
食べる食品頻度について  
のアンケート

調査研究部長 沼田 秀実

(調査の実施と結果について)

第46回みんなの消費生活展が平成27年11月27日(金)・28日(土)の2日間で開催されました。今回の調査研究部のテーマとしましては、牛(肉)についての調査研究結果をパネル・資料展示した他、模型や飼料等の展示、牛肉の試食とアンケート調査・クイズを実施しました。

わが国で飼養されている主な牛は、乳用牛「乳用種」(ホルスタイン・ジャージー)・肉用牛「肉専用種」和牛(黒毛和種・褐毛和種・日本短角種・無角和種)・交雑種・乳用種(去勢)「ホルスタイン」であり、食肉の赤色は血液の色ではなく、赤いタンパク質のミオグロビンで、動物の種類・性別・年齢・筋肉の量で違ってきます。

牛肉の部位、ネック・かた・かたロース・リブロース・サーロイン・ヒレ・ばら(かたばら・ともばら)・もも(うちもも・しんたま)・そともも・らんぶ・すねなどにも、それぞれの部位

ごとに特徴があります。

枝肉の格付は歩留等級と肉質等級で表示が決まり、歩留等級の区分、高(A・B・C)低の3等級に決定され、肉質等級は(脂肪交雑・肉の光沢・肉の締まり及びきめ・脂肪の色沢と質)の4項目で、各高5〜1低、等級で決定されています。

牛肉の試食用として提供した肉は、日本短角種・短角牛で肉は赤身が多くヘルシーで味わい深いといわれています。(日本古来の和牛)試食後の、食味アンケートの結果は下表の通りであります。豚・鶏・牛の順で好きな肉が多く、理由としてもさまざまでした。

牛クイズでは、褐毛和種の読み方の正解が意外と少なく、また十勝では人(人口)と牛(飼育頭数)のどちらが多いでしょうの問いに、「牛が多い」と回答した人は少ない結果でした。



アンケート調査結果

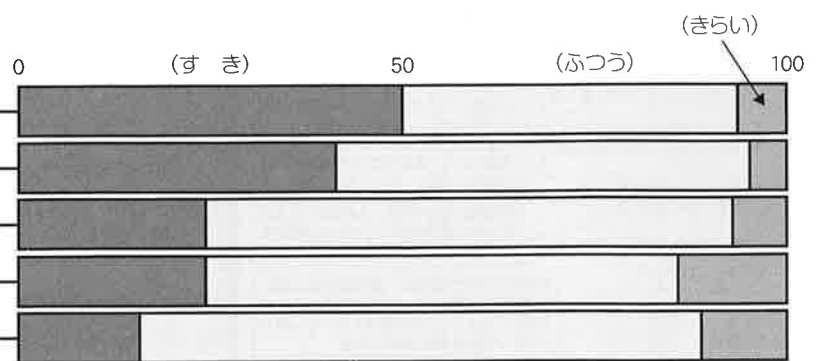
試食 228名 アンケート回答者 106名(男性42名、女性64名)

年齢別構成 [10代 10.4%、20代 1.9%、30代 17.9%、40代 13.2%、50代 22.7%、60代 16.0%、70代 16.0%、80代 1.9%]

○牛肉食味チェック

単位(%)

項目	すき	ふつう	きれい
味	50.0	44.3	5.7
香り	41.5	53.8	4.7
色合い	25.5	68.9	5.6
硬さ	25.5	60.4	14.1
肉汁の量	16.0	73.6	10.4



○普段、食べる食品の頻度

単位(%)

項目	よく食べる (週5~6回)	ふつう (週5~6回)	あまり食べない (週5~6回)
魚	25.0	52.0	23.0
鶏卵	33.7	47.4	18.9
キャベツ	30.9	44.7	24.4
大根	26.1	40.2	33.7
トマト	20.9	42.9	36.2

○一番好きなお肉は?

項目	選択(%)	好きな理由は?
鶏	27.4	あっさりしている、ヘルシー、脂肪が少ない、色々な料理に合う、安い、美味しい
豚	51.9	豚丼で食べる、身近だから手ごろ、味も値段も手ごろ、色々な野菜と合わせやすい、味付けも色々できる
牛	20.7	元気が出る感じがする、十勝の牛肉は美味しい、やわらかくて美味しい、歯ごたえが良い